

平成27年10月定例会教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成27年10月29日(木) 午前9時00分 ~ 午前9時45分
2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 野上 美智子
委員 渡辺 義弘
委員 神田 岳委
教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校教育課長	小坂 一弘	社会教育振興官	白根 和孝
社会教育課長	矢野 晃	学校給食課長	斎藤 隆生
教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久	文化・文化財課課長代理	日高 昌幸
学校教育課課長代理	斎藤 正雄	学校教育課指導主事	安東 憲雄
教育総務課副主幹	宇都宮 律子		

5. 傍聴人 白杵市 木下 裕章

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 5名、欠席委員 0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。今回は1名の傍聴希望者がいます。白杵市の木下さんです。傍聴に関しては、白杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、委員長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

傍聴について許可してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(委員長)

それでは傍聴を希望する1名について傍聴を許可します。

(傍聴者1名入室)

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成27年10月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日よりと致します。会議録署名委員に、野上委員、渡辺委員の2名を指名いたします。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

おはようございます。今月は臼杵の子どもが頑張った月でした。10月初めに行われた和歌山国体では雄城台高校の児玉彩希さんが400メートルハードルで優勝するという素晴らしい成績を修め、本日市長へ挨拶に来られます。それから臼杵高校野球部が九州大会へ出場し、惜しくも2回戦で敗れましたが、とても頑張ったなど感じています。他にも後ほど報告しますが、小学生も大変よく頑張った月でした。それでは10月の主な事項を、お手元に配布しています行事報告に沿って報告いたします。

1日の午前中に中体連新人大会がありました。少し雨が降ってあいにくの天気でしたが、各会場をまわって応援してきました。同日の午後に職員ヒアリングとありますが、これは教育委員会事務局に異動してきて6ヶ月経過した職員を対象に、9月末から10月初めにかけて行っているもので、現在の状況などの聴き取りをしています。3日と4日は小学校の運動会がありました。小学校の運動会はこの4日の下ノ江小・福良ヶ丘小が最終日です。川登小は体調を崩して行けませんでした。それ以外は全て応援に行き、子ども達の元気な姿を見ることが出来ました。6日ですが運営計画の市長への中間報告ということで、市教委の当初年度の方針を説明してその状況の中間報告です。色々な課題等もありますが、これからの取り組みも含めて説明いたしました。9日から11日まで常陸太田市へ行きました。こちらは後程安東指導主事から報告がありますが、常陸太田市と二孝女の関係で姉妹交流の締結をしました。その一環として川登小学校6年生の8名が常陸太田市の山田小学校と交流ということで行きました。木本校長と担任の板井先生も同行しまして9日に交流会を行い、10日が姉妹交流締結をお互いの市長が署名して、議長が立ち合いして行われました。川登小の子ども達がしっかり自分たちの取り組みを発表していました。13日の定例校長会で常陸太田市との姉妹交流締結についての報告と、管理職試験の申込期間ですので、ぜひ皆さんに勧めるようにお願いしました。14日の夜ですが、市P連の母親部会との懇談会を行いました。少子化が進む中で、子ども達の未来をどう考えて行くかということで、お互いざっくばらんに意見交換をしました。子どもが少なくなる中、小学校は人数が少なくてもメリットがあるなという話の中で、複式学級の解消について要望が出されました。あるいは校区が見直せないかという意見もいただきました。15日に教組との当初予算交渉があり、勤務労働条件や教職員の増や、国庫負担の関係について国に要望してほしいとか、30人学級としてほしいなど様々な意見交換ができたと思います。16日にこれも後ほど説明がありますが、里帰り授業が福良ヶ丘小と西中で行われました。講師は福良ヶ丘小・西中を卒業された江川寛さんで、以前は東京電力に勤務しておられた関係もあって、授業の内容も「エネルギーの過去・現在と未来を考える」というテーマに沿って福良ヶ丘小と西中で授業をしていただきました。17日に野津中央公民館で大分県民フォーラムが開催されまして神田委員も講演をしていただきました。他に板井麻衣子さんの講演と、野津小、川登小、南野津小の発表がありました。野津小がキリシタン、川登小が二孝女、南野津小が大友宗麟についてそれぞれ自分たちが学んだことを発表していました。次の週、20日の人材育成市民連携会議では垂井委員長も委員として出席されておりますが、ちょうど臼杵高校の定員が発表されて、増員を要望しておりましたが、残念ながら昨年と同じ200人となったことも含めて、今の状況や市教委の取り組みを説明いたしました。今回は海洋科学学校の先生もオブザーバーで参加されていましたが、来年度からはメンバーとして入っていただくようにしていただきました。校区の見直しなど色々な意見をいただきました。特に海洋科学学校は漁業の後継者育成にも高校の活用が期待できるという意見も出されておりました。21日に県の長期教育計画事前打合わせとありますが、来月24日に県教委との意見交換会がありますので、事前にその内容について教育委員会事務局内で打合せをしました。県に対する意見の取りまとめをしました。24日ですが県の愛護少年団の集いが臼杵市でありました。宇佐・日出・別府・大分・佐伯の5市町から9団体、市内から4団体92人の子ども達が集まりました。臼杵市は深田の臼杵磨崖仏愛護少年団、三重野の臼塚古墳愛護少年団、三輪流神楽、新要流棒術の4つの団体でした。特に三輪流神楽と新要流棒術の2団体は実演をしました。26日に第1回臼杵市読書のまちづくりプラン策定委員会が開催され、第2次読書のまちづくりプランの策定に取り組んでいます。第1次は平成23年に作られ、25年度までの計画だったんですが、その中で図書司書全校配置ができたと思います。1年空いたのは市の総合計画の見直しもあって、今年度から第2次のまちづくりプラン策定に取り組んでいき

ます。特に今回は委員さんからも出されたんですが、読書が好きになるしくみを作っていく必要があるのではないかという意見をいただいていますので、そういったことが盛り込まれるのかなと思います。市民総ぐるみで取り組んで行こうという話がありました。27日ですが定例教頭会があり、この時も特に管理職試験についてお願いしました。28日に山内流理事会がありまして、1月3日に開催される寒中水泳について話し合いました。今年は教職員弘済会から50万円の補助をいただいています、大旗や花笠を整備できたのでその披露も兼ねた寒中水泳大会にしたいということです。今日ですが、この委員会の後「総合教育会議」が行われます。教育大綱について市長と話し合いをします。それと冒頭にお伝えした兒玉さんの国体優勝報告が3時から行われます。

他の事項につきましてはお手元の10月行事報告表をご確認ください。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

神田委員、県民フォーラムはどうでしたか。

(神田委員)

当日は遅れて行って申し訳ありませんでした。パネラーの皆さんがそれぞれ自分の考えを持ってらっしゃる方だったので良かったです。皆さんが臼杵の子ども達に対してこういうことをしたらいいんじゃないかとか熱い思いがあるようで、そこをまとめていった時に子どもだけでなく、大人も前向きに子ども達の育成のためにやって行かなければならないという結論に達したので、役割は果たせたのではないかと思います。その前の発表を見逃しているの、今日の報告の中で見たいと思います。子ども達は本当に生き生きとしていて、自分の息子も修学旅行に行っていますが、その集合の様子を見てもきちんと集まって説明を聞いていたので、臼杵の子ども達は団体行動がちゃんと出来て先生の言うことを聞いて自己主張も出来ていると感じました。教育長が先ほどおっしゃったように、本当に子ども達が活躍した10月だったんじゃないかなと思います。

(野上委員)

私は臼杵小学校に関わることで運動会とスタンプラリーに行きました。少ない人数になってきているのですが、子ども一人一人が頑張っていることと、PTAの方たちが本気になっていると感じました。運動会の競技の中に防災に関するものがあって、私はスタンプラリーのリュック担当だったんですが、子ども達で自分のリュックを持っていると言っている人が半分くらいいたので、これはすごいなと思いました。中央地区振興協議会も出来たので大人と子どもがまとまってきていると感じました。

(渡辺委員)

子ども達がしっかり活躍できたということでこれからの臼杵の展望も明るいものがあるなと思う一方で、私が在籍している不登校生徒の支援教室についてです。先日収穫祭がほんまもんの里であったのですが、行事のあるのが土曜日で他の団体の方なども見えるのですが、その中になかなか行けなくて、今回は平日にしてもらいました。昨日の午前中にしてもらって、野津幼稚園と一緒にだったのですが、そんな中ならなんと2名参加することができました。11月の終わりごろに秋茶葉の収穫と玉ねぎの植え付けがあるのですが、それも平日にしようかと話し合っております。本当は収穫したり植え付けしたりが目的ではなくて、沢山の人たちの中に入れるようにするのが当初の目的だったので、本来の目的とは違ってしまっているのですが、子ども達が行ってやることに意義があるのかなとも思うので、とりあえず平日にやってみようかと考えています。

(委員長)

本当に至る所で子ども達が一生懸命頑張った月だと思います。11月は指定校発表とか色んな形でまた活躍することを期待しています。他にありませんか。

(無しの声あり)

(委員長)

無ければ以上で教育長報告を終わります。本来であれば会議次第のとおり3の協議事項へ移るのですが、本日は6のその他を先にしてほしいということですので次第の変更をいたしますがよろしいでしょうか。

(異議無しの声あり)

8. その他

(委員長)

それではこれより次第6のその他に移ります。

常陸太田市立山田小学校への訪問、大分県民フォーラム、里帰り授業について報告をお願いします。

(指導主事)

私から子ども達の様子を報告させていただきます。お手元の資料かこちらのスライドをご覧ください。先ほど教育長報告でもありましたが、常陸太田市での二孝女の交流及び、福良ヶ丘小と西中での里帰り授業、県民フォーラムについて少し触れたいと思います。まずは10月9日から11日まで川登小学校の子ども達と常陸太田市へ行ってきました。ほとんど移動だったんですが、片道9時間かかりました。大分空港から飛行機に乗る様子や、バスの車内からスカイツリーを見たり写真を撮ったりしている様子です。その後山田小学校へ行く前に常陸太田市役所へ訪問して、市長とお会いすることが出来ました。最初がいきなりメインなんですけど、山田小学校との交流会があり、手厚い歓迎をしていただきました。交流会で川登小学校の子ども達は堂々と発表してくれました。その後食事会がありまして、その時に「素晴らしいプレゼン力ですね」と言われました。ぜひ山田小学校の子どもにも付けさせたいですということでした。山田小学校では二孝女のコーナーを設けていて、ルート18なども常に目に留まるような形で展示されていました。2日目は調印式にも列席させていただきました。常陸太田市の教育長や市長から出迎えをいただきまして、調印式も見ることができ、貴重な経験となったと思います。調印式で使用した証書用紙も川登小の子ども達が紙漉きで作成した和紙です。その後常陸太田市の史跡を訪ねました。梅津会館や水戸光圀公が大日本史を編纂したという西山荘に行きました。青蓮寺にも伺い、住職のお話を聞くことができました。竜神大吊橋というところにも行きまして、市からはお願いしていないけどグーグルのCMで取り上げられていて、PR効果がすごいと市長も言っていました。2日目の夜は農泊ということで、一般のご家庭に泊めていただきました。各家庭の様子を見に行きましたが、立派なお宅ばかりでした。3日目は社会科見学ということでレインボーブリッジなど少し見学して帰りました。子ども達は全行程、とても良い態度で素晴らしかったと思います。

続きまして、16日の里帰り授業についてご説明します。総務課の江川徹さんのお兄さんで、江川寛さんに講師として来ていただきました。臼杵市のご出身で、東京電力や東洋エンジニアリングという大きな工場を作る会社に勤務されていて、海外での勤務経験も十数年ある方です。3・4時間目を使って福良ヶ丘小学校で授業をしていただきました。最初は児童も硬かったのですが、徐々に打ち解けて行って、授業のあと一緒に給食も食べてもらいました。給食を食べた後の意見交流がすごく良くて、担任もうまくコーディネートできていました。その後西中学校でも授業がありましたが、生徒はすごく集中して聞いていました。その中で江川先生が「人生ほとんどは自分に不戦敗なんですよ。自分に勝てない者は他人に勝てるわけがない」といつも社員に言っています」とおっしゃっていました。子ども達に「なぜ勉強しないといけなかわかりますか？自分の人生は自分で決めたいでしょう」ということも言っていました。それと「先生達を目の前にして言いにくいのですが、どうしても今勉強していることはあんまり役に立たない。だけど自分の人生の幅を広げるために勉強するんです。そうして自分の人生を自分で決めたくないですか？」というところが特に心に残りました。小学校5・6年生にも中学校1年生にもわかる言葉で授業をしていただきました。授業を受けて子ども達からお手紙をもらっていますので先生にお送りしたいと思います。

最後になりましたが、17日に大分県民フォーラムがありました。前回他市で開催した時には50名しかいなかったということで、どうしても成功させたいという思いもあり、臼杵市で行われました。

最初に板井さんのお話をいただき、途中から立ち見が出るほどの盛況でした。何よりうれしかったのは野津小・川登小・南野津小の研究内容も発表も素晴らしかった。それについては義務教育課の元課長が何人かの方にメールを送っていて、お礼の言葉といますか、今回のフォーラムが良かったということと、その中に特に「3校の児童の皆さんの学習や当日の発表に感服しました。この一席の意義を注視すべきだと思つづく思つた次第です。」という一文がありました。本当に素晴らしい発表だったと思います。そしてシンポジウムの途中で神田委員が「安東先生」と指名されたときに、西中と下ノ江小の校長がいらっしやだったので、自分とは思わなかったのですが、意を決して質問させていただきました。その後神田先生からご講演をいただきまして、象やキリンの話の時には私の後ろに座っていた保護者の方だと思いますが、ゲラゲラ笑っていたのですが、お話が最後の方になるにつれ、すすり泣く声が聴かれました。資料にはありませんが、義務教育課の方から大分県内に良質な授業を発信したいということで、急遽10月23日に西中の村松先生に授業をしていただきました。最初NIE新聞を活用した授業から、私は小学校の教員なのですが、中学校でもヒントカードやキーワードなどを使っていて、どの先生にも知っていただきたいポイントが沢山あったと思います。授業の内容は一次関数で携帯電話の料金プランがそれぞれ伝わるように説明しなさいということでした。垂井委員長にも飛び入りでご参加いただきまして、誰にでもどの年代でも伝わるようにプランの説明ができるかという内容でした。授業のあと意見交換をしたんですが、市教委とか県教委とは別に、教員として多くのことを学ぶことができました。以上報告を終わります。

(委員長)

県教委の方が沢山お見えになっていたのですが、どこが荒れている学校なのかとおっしゃっていました。指導者が工夫をして子ども達をどこで活動させるかどこで引き込むかということをしている限り、子ども達は本当に真剣になります。私は修学旅行直前なので子ども達の様子を見に行こうと思って訪ねたら、ちょうどいいところに来たと授業に参加させられたのですが、県の方は打合せができていたんでしようと言われました。課題が一番安いおススメのプランを作りなさいということだったのですが、グループで一息懸命話合っているなと思ったら、「この人はお金持ちみたいだから一番高いプランをおすすめしよう」とか言い出しまして、授業は本当に楽しく活力のある集中力のあるものでした。臼杵市は学力が低いと言われますがそんなことは無いと感じました。

指導主事の報告に何か質問がある方はいませんか。

(無しの声あり)

(委員長)

無ければこれでその他報告を終わります。

9. 協議事項

(委員長)

それではこれより次第3の協議事項に移ります。

第44号議案の国宝臼杵磨崖仏保存修理委員会委員の委嘱について説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

臼第44号議案の国宝臼杵磨崖仏保存修理委員会委員の委嘱について説明いたします。資料編の1ページをご覧ください。現在、保存修理委員会委員は6名ですが、深田地区の方が一番良く石仏の様子がわかっているのではないかとということで、地元の代表として新たに石仏観光センターの宇佐美忠夫さんをお願いして委員に入らせていただきました。これによりまして現在6名の委員が7名になりました。任期については現在の委員と同じ平成29年7月31日までとしています。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第44号議案については、承認するというところでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第45号議案の臼杵市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について説明をお願いします。

(社会教育課長)

臼杵市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について説明いたします。この策定委員会の設置の目的ですが、スポーツ基本法の規定に基づき長期的かつ総合的な視野に立った、本市のスポーツ振興の指針となる臼杵市スポーツ推進計画を策定するため、新たにこの委員会を設置するものです。この要綱については今年度中に策定予定です。以上です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第45号議案については、承認するというところでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

10. 学力向上について

(委員長)

それでは次第4の学力向上について説明をお願いします。

(社会教育課長)

社会教育課が取り組んでいる中学3年生の放課後教室についてご説明いたします。4ページをご覧ください。このページの上段は8月の教育委員会でご報告いたしました中3生夏休み教室の様子です。夏休みに5日間開催され、69名の生徒が参加しました。指導者のもと意欲的に学習に取り組み、来春の受験に向けて気持ちにスイッチが入ったようです。これに続きまして下段ですが、学校支援と放課後をコーディネートということで、本年度より初めて中学3年生放課後教室を開催しました。9月の教育委員会で実施要項等が決まりまして、南中学校が一番に手を挙げてくれて10月7日にスタートしました。この授業ですが、垂井委員長から最初にお話しをしていただきまして、子ども達は一生懸命取り組んでいましたし、先生方も授業に参加してもらって、先生自体も良い勉強になったという話を聞きました。私も先週野津中に行って、40年ぶりに中学校の授業を聞いてみたのですが、子どもは生き活きと先生も伸び伸びとやっていて、楽しい良い授業だなと思いました。この中3生放課後子ども教室は当初から運営計画の中に入れていて、今年度まず1校からスタートさせようと考えていたのですが、10月21

日には野津中、26日から東中、28日から西中でもスタートしますので4校実施となっています。11月末から2月の受験前まで、土曜日の午後と冬休みにも中央公民館で実施する予定です。野津公民館でも冬休みの間に2～3日開催することも検討しています。次のページからはそれぞれの学校の実施要項を掲載しています。社会教育課としては中学3年生が希望する学校へ合格出来るようにしたいと考えていますし、先生方も一生懸命取り組んでもらっています。生徒たちも外部指導者からの授業を受けて、気持ちにスイッチが入ったということを感じています。学校の要望に応じて出来ることを学校教育課と連携して支援を続けたいと思います。以上です。

(委員長)

学力向上について中3生に対する取り組みについてご説明がありました。何かご質問等ありますか。

(野上委員)

子ども達が生き生きしているのと同時に、すごい宝物を持って埋もれている退職した先生方が復活したような気がしてすごく良いと思います。

(委員長)

小学校の先生方のように全ての教科を教えていたわけではないからオールマイティーではないし、教科の専門性がありますので、各教科の指導者を探すのも大変だとは思いますが。昨日2回目の国語を教えるに南中に行ってきたのですが、一通り教科を終えて先生達、指導者の感想を聞いていますけど、なぜ学力が低いのか分からないというわけですね。子ども達は一生懸命やっていて人数も少ないので全員の表情見えるんです。隣と話し合ってみなさいと言うと真剣に話し合うんです。南中の先生が「鍛えれば絶対に伸びる子ども達だと思うし、かつて南中から高専を受けたりもしているんです。それを目指させたい」とおっしゃっていました。小規模校ですから1教科に1人の先生しかいませんし、刺激という点でも外部の方が来てくれるのがとても良いようです。

その他学力向上で何かありませんか。

(無しの声あり)

11. 教育予算について

(委員長)

次に次第5の教育予算等についてですが、ご意見がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(教育総務課総括課長代理)

12月議会に向けて、現在財政企画課から補正予算についてヒアリングを受けています。来月の定例教育委員会で12月補正予算についてご説明いたしますのでよろしくお願いします。

(教育長)

来年度の当初予算も12月にかけて事務局としてまとめなければならないので、来年度こういうことに取り組んではどうかなどご意見がありましたらお願いします。

(委員長)

それは来月の委員会でも間に合いますか。

(教育総務課総括課長代理)

間に合いますが、何かお気付きのことがあれば電話でもご連絡いただければと思います。

(委員長)

それでは教育予算全般について何かご意見やご要望があればこの場でご発言いただくか、何か思いついた時点でご連絡をということです。よろしく申し上げます。

(委員長)

他にご意見等はありませんか。無ければ以上で、平成27年10月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
